

# 第 1 学 年 ○○○○ 学 習 指 導 案

## 1 単元名 「とびだせ あそびたい」 ～てづくりおもちゃであそぼう～

### 2 指導観

#### このような子どもたちだから

- 子どもたちはこれまでに、6年生と一緒に学校の遊具で遊んだり2年生と一緒に学校探検やアサガオ植えをしたりしてきた。また「こうえんへいこう」の公園探検では、1年生同士で遊具で遊んだり虫取りや花摘みをしたりして自然に親しんできた。これらの活動から、新しい環境のなかでも年上の友だちから教えてもらう活動をして、安心して探検ができ、人との関わりを深め親しくなることの楽しさを味わってきている。さらに、校区探検では、9月に幼稚園や保育園を訪問して交流し、もっと園児と関わりたいという気持ちを抱いている。このことから、子どもたちはもっと面白いことをしたい、もっと人と関わって遊んでみたいという意欲が高まっている。
- 学校探検や公園探検では、学校や公園の様子が分かり、安全に楽しく過ごせるように行動したり遊んだりして、身近な人に楽しさを伝えたり、絵や文に表したりしてきた。また、「ぐんぐんそだて」では、アサガオの開花を期待して世話をし、気付いたことを発表したり発見ノートに描いたりした。このように、子どもたちはみんなの前で楽しかったことや心に残ったことを発表したり絵に描いたりできるようになってきている。さらに、困ったことを進んで尋ね、工夫したいことを発表できる子どもが見られるようになってきた。
- 子どもたちは、これまでの学校探検や校区探検を通して、自分の探検したい場所を見つけ、友だち同士や異学年の友だちと探検したり遊んだりする楽しさに気付いている。また、心に残ったことをみんなの前で発表したり絵に描いたりすることで、自分や友だちのがんばりに気付いている。さらに、上級生に世話をしてもらった喜びや自分も世話をしてみたいという意欲をもつことができている。遊び方を工夫して変えてみることで、いろいろな友だちと進んで関わって遊ぶことにも興味をもち始めている。

#### このような学習で

本単元は、自分の作りたいおもちゃを作って、できたおもちゃで友だちと一緒に遊びたいという思いや願いを実現させることができる学習である。

本単元を通して次のような学習が期待できる。

- 材料集めから完成まで主体的に関わり、作りたいおもちゃを作ったり、作り直したりして思いを実現させ、友だちと関わりながら遊ぶことができる。また、園児たちに自分のおもちゃで遊んでもらうことで、年下の人に適切な態度で接することができる。
- 自分が作りたいおもちゃを作ることで、困ったことやもっと工夫したいことをみんなや先生に相談したり発表したりしやすくなる。また、園児たちを意識することにより、ルールを替えたり遊び方を工夫したりすることができる。
- おもちゃを作る活動を通して、できた達成感を味わい自分のがんばりに気付くことができる。また、同学年の友だちと作ったり遊んだりするよさ、年下の人に遊び方やルールを教えて一緒に遊ぶよさ、おもちゃの種類によって味わえるいろいろな楽しさに気付くことができる。さらに、活動を振り返ることで自分の成長に気付くことができる。

### このような指導を

- 手作りのおもちゃに興味・関心をもち、自分で作ってみたいおもちゃを見つけたり、最後まで作ったりすることができるようにするために、
  - ・ ゲームをした経験を出し合い、実際に遊んでみる。手作りおもちゃは、みんなで遊べるもので、「蹴る」「投げる」「放る」「転がす」「打つ」「くぐらせる」「並べる」「釣る」「叩く」「当てる」等の活動ができるゲームを12種類準備をしておく。子どもたちが材料を集めやすく、安全に遊べるように紙やダンボール等で作っておく。
  - ・ 同じおもちゃを作りたい人とグループを作り、相談・活動できる場と時間を設定する。人数は3人を基本とし、協力して1つを作り上げる。
  - ・ 自分たちで作ったものを大切に、学級全体で達成感がもてるように「〇〇ランド」のように各学級で楽しい名前をつける。
- 自分たちで作ったおもちゃをよりよいものにするために、
  - ・ 〇〇〇〇ノートを記録しやすい形式にして、前時を想起したり次時の見通しをもったりできるようにする。
  - ・ 改善点が見つかるようにグループで交流する場をつくる。その際、観点を「じょうぶさ」「きれいさ」「ルール」に絞り、意識させたい。
  - ・ いつでも作り直しができるように、材料コーナーを設置し自分で選べるようにする。欲しい材料が身近にないときはみんなに呼びかけて協力してもらえるように、掲示コーナーに「ほしいものカード」を用意しておく。
- おもちゃを手直ししたり、ルールや遊び場を相手に合わせて作り替えたりすることで、誰とも楽しく遊ぶことができるように、
  - ・ 学級で遊ぶ時間をとるとともに、園児を招待して一緒に遊ぶ場を設定する。
  - ・ 活動していく中で必要に応じて話し合いの場をもち、続けて活動に移れるようにする。
- 自分や友だちのがんばりに気付けるように、
  - ・ 活動したことや次の見通しを記入できる〇〇〇〇ノートを工夫する。
  - ・ 他のグループのおもちゃのよかったところを友だちに伝えることができるようにカードを準備し、書く時間を設定する。
  - ・ 活動場所には、それまでの活動を掲示しておくことで、活動を振り返ることができるようにしておく。
  - ・ 子どもの活動や気付きを比べたり、広げたり、深めたりできるように、一人一人の見取りをして支援の方法を工夫する。

### 3 単元目標

- 手作りおもちゃで遊ぶことを通して、遊びに使うものを作ったり、楽しく遊んだりして、おもちゃや遊びに関心をもつことができる。 **【関心・意欲・態度】**
- 身近な材料でおもちゃを作って遊び、友だちに遊び方や工夫したことを教え、楽しかったことを表現できる。 **【思考・表現】**
- 園児との交流を通して、様々な人と関わって遊ぶ楽しさや、自分や友だちのがんばり、自分の成長に気付くことができる。 **【気付き】**

4 単元計画（25時間）

過程	学習活動と内容(配時)	手だて	評価規準
はっけんする (6時間)	1 手作りおもちゃで遊ぶ。②	○ 十分に遊ばせるために、時間と場を設定する。	○ おもちゃを作ることに興味・関心をもつことができる。
	おもちゃをつかってあそびたいな。		【関】
	2 自分が作りたいおもちゃを決めて、グループをつくる。① <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 魚つりを紙と糸で作ろう。</li> <li>・ 家にある空き箱で、まとあてができそうだよ。</li> <li>・ ゴルフコースを作りたいな。</li> </ul> </div>	○ それぞれが十分に活動できるように3～4人のグループにする。 ○ みんなで1つのおもちゃを作ること、作りながら変わっていてもよいことを伝える。 ○ 材料として使えそうな物・持ってきていい物を具体的に提示する。	○ 自分が作ってみたいおもちゃを決めることができる。【思】 ○ 必要な材料や道具・作り方を考えることができる。【思】
こだわる・まとめる (18時間)	3 おもちゃ作りの計画を立てる。③ (1) 各自ノートに作りたいおもちゃと材料を書く。 (2) ノートを見せ合って1つに決める。		
	4 手作りのおもちゃを考えて作る。 (1) 計画書をもとに、自分たちでおもちゃを作る。③  (2) グループで遊び、おもちゃの見直しをする。① <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 壊れないように。</li> <li>・ 倒れないように。</li> <li>・ よく入るように。</li> </ul> </div> (3) おもちゃを手直しする。②  (4) できたおもちゃで遊ぶ。①	○ 自分の活動を自己評価できるような○○○○ノートを用意する。  ○ 活動の様子を見ながら、助言する。 ・ 丈夫に作ろう。 ・ きれいに作ろう。  ○ 手直しや遊びの試行ができるように、材料や道具をいつでも使える場を設定する。 ○ 自分のよさやがんばりを実感できるように、教師も一緒に遊び、丈夫できれいにできたことを認め、賞賛の声かけを行う。  ○ ルール作りや手直しの必要感をもたせるために順次遊ばせる。	○ 思いや願いをもって作ることができる。【関】 ○ おもちゃの改善点を見つけることができる。【気】  ○ 自分のおもちゃを丈夫できれいに手直しすることができる。【思】  ○ 友だちのおもちゃで遊んでみて気付いたことを表現することができる。【思】
みんなでいっしょにあそびたいな		○ 見直しの必要感をもたせるために、グループのよさや困ったことをメモするノートを用意する。	
	5 ○○○○ランドの準備をする。 (1) みんなで遊んでみる。①		

(2) みんなが楽しく遊べる方法を考える。【1組本時】①

- ・ 遊び方を書こう。
- ・ もっと丈夫にしよう。
- ・ 何の遊びか分かるように看板を作ろう。

(3) グループで手直しや場づくりをする。①

6 学級で〇〇〇〇ランドで遊ぶ。③

- (1) 全体のルールを確認する。
- (2) みんなで遊び、それぞれのよさを見つける。
- (3) 次は誰と遊びたいかを話し合う。

○ みんなで遊ぶためには、丈夫さ、きれいさに加えてルールと場づくりが大切なことをおさえ、赤まるをつける。

○ 見直す観点を意識しながら活動できるように、観点を掲示しておく。

- 時間を守ること、店番・客としての気をつけることを確認する。
- おもちゃのよさに気付けるように、観点（じょうぶさ、きれいさ、ルール、場づくり）を確認する。

○ みんなで遊べるように考えることができる。【思】

○ 観点に沿って手直しや場づくりをすることができる。【思】

○ 友だちのおもちゃのよさや自分たちのがんばりに気付くことができる。【気】

ほいくえん・ようちえんのともだちともあそびたいな。

7 園児を招待する計画を立て、一緒に遊ぶ。

(1) 園児のために遊び方やルールの見直しをする。【3組本時】①

- ・ ルールを簡単にしよう。
- ・ 遊び方を見せたらいいね。

(2) おもちゃを手直しする。①

(3) 園児と遊ぶ。②

(4) クラスで遊ぶ。①

○ 保育園・幼稚園との交流の様子を振り返ることができるように、写真を掲示する。

○ 相手を考えた遊び方（ルール・場づくり）や接し方を考えさせるために、園児をイメージできる物を提示する。

○ 園児のことを考えた接し方を具体的に書いたものを掲示する。

○ 園児が楽しく遊びに入れるように、活動の順番を決めて、園の先生と打ち合わせをしておく。

○ 園児のことを考えた遊びの見直しをすることができる。【思】

○ 園児のことを考えた接し方をすることができる。【関】

つたえる（1時間）

8 園児と一緒に遊んだ感想を出し合い、学習を振り返る。【2組本時】①

○ 活動を楽しんでいた様子を振り返ることができるように、写真やビデオ等を用意する。

○ 思いや願いを実現させた達成感を味わうことができるように、お互いに認め合う場を設定する。

○ 自分や友だちのがんばりや、自分の成長に気付くことができる。【気】

ねんちょうさんがよるこんでくれたのは、ねんちょうさんのことをかんがえて、じぶんもみんなもがんばったからだね。

# 第 1 学年 O 組 本 時 指 導 案

## 1 本 時 ( 1 5 / 2 5 )

### 2 本時の目標

- みんなで楽しく遊ぶために必要なものを考え、おもちゃを見直したり、場づくりをしたりすることができる。 【思考・表現】

### 3 本時指導の考え方

本時までには子どもたちは、実際に遊んだことで手作りおもちゃに興味をもった。そして、作りたいおもちゃ別に3～4人のグループに分かれて、身近な材料を使っておもちゃを作っている。さらに、グループ毎に作ったおもちゃで遊び、もっと丈夫できれいにするための手直しをしている。このような経験を通して、他のおもちゃでも遊んでみたいという意欲が高まってきている。前時には、お店屋さんとお客さんが交替しながら、学級の他グループのおもちゃで遊ぶ活動を行った。そこでは、ルールがよく分からない、おもちゃが壊れた、数が足りないなどの困ったことも経験したが、友達のおもちゃのよさにも気付くことができた。

本時は、前時で困ったことや気付いたことについて話し合い、他グループの友だちと一緒に楽しく遊ぶために必要なことを考えて、グループでおもちゃを見直すことをねらいとしている。

そこで本時の学習づくりにあたっては、次のような手だてをとりたい。

- ア グループで協力しておもちゃの手直しを繰り返してきたことを振り返ることができるように、写真や子どもの言葉を使った掲示物を工夫し、これまでの活動の流れが分かるようにする。
- イ ルールを作ったり教えたりすることの必要感をもつことができるように、前時の活動を振り返って意見を発表し合い、遊んでみてよかったことや困ったことまとめる話し合いを設定する。
- ウ たくさんの友だちに遊んでもらうためのルールづくりと場づくりが、どのグループにも必要なことに気付くことができるように、全体の話し合いをもつ。
- エ グループで必要と思われるところから手直しや場づくりができるようにするために、ルールを簡潔に書いて貼れるような用紙や、児童が自由に使える材料コーナーを準備する。
- オ グループの進捗を確認し、次の活動を明確に想起できるようにするために、手直しの内容と次時にしたいことを書く〇〇〇〇ノートを準備する。

### 4 準 備

- 【教師】 材料（画用紙、色紙、マジック、テープ等）、ほしいものカード、前時の写真活動の掲示物、〇〇〇〇ノート、ルールを書く用紙
- 【児童】 手作りのおもちゃ、材料、道具袋、生活科ファイル

5 展 開

学 習 活 動 と 内 容	支 援
<p>1 前時の学習を振り返り，本時のめあてをつくる。</p> <p>(1) 前時までの活動を振り返る。</p> <p>(2) 本時のめあてをつくる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">みんなでたのしくあそぶために，あそびかたをかながえよう。</p> </div> <p>(3) 学習の見通しをもつ。</p> <p>2 前時に遊んでみて困ったことを出し合い，困ったことを解決するためにはどうしたらいいかを話し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・ 遊び方がわからなかった。 →ルールを紙に書く。交代で説明する。床に印をつける。</p> <p>・ どこに行ったらいいか迷った。 →見やすい看板を作る。並ぶ場所をつくる。</p> <p>・ 壊れてしまった。 →もっと丈夫なつくりにする。デザインを工夫する。</p> <p>・ 次の人の使う道具が足りなかった。 →数を増やす。</p> </div> <p>3 グループで手直しや場づくりをする。</p> <p>4 学習を振り返り次時の活動への見通しをもち，〇〇〇〇ノートを書く。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>たのしくあそべるように，みんなでルールをつくりました。もっとわかるようにつぎはかんばんをつくりたいです。</p> </div>	<p>○ 活動を振り返らせるために，前時の写真やこまつノートを見るよう助言する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">みんなでたのしくあそぶために，あそびかたをかながえよう。</p> </div> <p>○ 学習の見通しをもたせるために，「はなしあい」「おもちゃづくり」「〇〇〇〇ノート」のシートを黒板に貼る。</p> <p>○ グループ内ではルールを言わなくても遊べていたが，初めて遊ぶ友だちには，ルールをはっきりさせなければならないことを確認する。</p> <p>○ たくさんの友だちを相手にするときには，丈夫さ，きれいさに加えて，ルールと場づくりが必要なことを意識させるために赤丸をつける。</p> <p>○ 看板やルールの説明は，どのおもちゃにも必要なことを確認する。</p> <p>○ 他のグループのよいところは取り入れてよいことを伝える。</p> <p>○ 支援の必要なグループの活動に入り，声かけをする。</p> <p>○ 活動がしやすいように，材料や道具を十分に準備しておく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p><b>評価規準</b></p> <p>みんなで楽しく遊べるおもちゃの条件を考えてルールづくりや場づくりをしている。</p> </div> <p>○ 条件が達成できたことが分かるようにするために一覧表を貼る。</p> <p>○ 足りない材料は「ほしいものカード」に書いて貼るように伝える。</p> <p>○ 次時の見通しをもたせるために，手直しや場づくりをしたことや，次にしたいことを〇〇〇〇ノートに書くよう伝える。</p>

# 第 1 学年 O 組 本 時 指 導 案

## 1 本 時 (25/25)

### 2 本時の目標

- 園児との交流を振り返り、みんなが喜んでくれた理由を考え、自分や友だちのがんばり・自分の成長に気付くことができる。 【気付き】

### 3 本時指導の考え方

本時までには子どもたちは、自分たちでつくったおもちゃで遊んだあと、園児に合わせておもちゃを手直ししたり、遊び場や遊びのルールを変えたり、接し方を考えたりした。そして、校区探検で交流した園児を招き、遊び方を教えたり一緒に遊んだりして楽しく過ごしている。その後、園児に合わせたルールやおもちゃの手直し、接し方がどうだったかを、以前に学級で遊んだときと比べて確かめるために、もう一度学級で遊ぶ活動を行った。その際、各グループのよかったところをカードに書き、それぞれのグループの袋に入れている。まだ、自分のグループにどのようなメッセージが入っているのかを見ていないため、どのようなところがよかったと評価されているかを知りたいと楽しみにしている。

本時は、園児との交流を振り返り、喜んでくれた理由を考えることで、自分や友だちのがんばりや自分の成長に気付くことをねらいとしている。年下であることを意識して見直したことが、役に立ったことや、楽しんでほしい、喜んでほしいという気持ちが言葉や態度に表れたことに気付かせていきたい。おもちゃを見直す観点は、単元を通して「丈夫さ」「きれいさ」「遊びのルール」とし、園児のためには「ルールの見直し」「場づくりの見直し」「接し方」を考えて取り組んできた。子どもたちは、これらの観点で園児が喜んでくれた理由を振り返ると思われるので、園児や友だちからの評価を伝えることで自分への自信へとつなげていきたいと考える。

そこで本時の学習づくりにあたっては、次のような手だてをとりたい。

- ア 園児との交流を振り返り、園児たちが楽しんでいることを確かめやすくするために、交流場面の写真やビデオを用意する。その際、園児の表情や言葉に着目するよう視点をあたえる。
- イ 園児が喜んでくれた理由を考えるために、今までの活動内容を記した掲示物や生活科ファイルの見直しをする時間をとる。板書は、観点別に色を変えて分かりやすくする。
- ウ 自分や友だちのがんばりや自分の成長に気付くことができるように、園児のことを考えて手直ししたり、接したりしたことを賞賛し価値づけする。
- エ 前時までの活動に自信をもたせるために、たのしかったシール（園児が遊んだ後に貼ったシール）を見直し、よかったよカード（友だちからの評価）を紹介する。
- オ 自分のがんばりや園児への思いをふり返ることができるように、〇〇〇〇ノートを記入する。

### 4 準 備

- 【教師】 園児との交流の写真、園児との交流のビデオ、よかったよカード（友だちからの評価）、たのしかったシール（園児からの評価）、〇〇〇〇ノート、活動の掲示物
- 【児童】 生活科ファイル、手作りおもちゃ

5 展 開

学 習 活 動 と 内 容	支 援
<p>1 園児との交流を振り返り、本時のめあてをつくる。</p> <p>(1) 写真やビデオを見る。</p> <p>(2) 本時のめあてをつくる。</p>	<p>○ 楽しんでいる様子に気付くように、園児の表情や言葉に着目するように助言する。</p> <p>○ たのしかったシールも見て園児が喜んでくれたことを確認する。</p>
<p>ねんちょうさんがよろこんでくれたわけをかんがえよう。</p>	
<p>(2) 学習の見通しをもつ。</p> <p>2 喜んでくれた理由を話し合う。</p> <p>○ 壊れないように丈夫に作ったから</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ちゃんとゲームができるからうれしい</li> <li>・続けることができるから楽しい</li> <li>・磁石を強くしたからたくさん釣れて嬉しい</li> <li>・すぐ釣れて楽しい</li> </ul> </p> <p>○ ルール</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立つ所を近くにしたらすぐにピンが倒れてうれしい</li> <li>・輪を大きくしたから入りやすくなった</li> </ul> </p> <p>○ 接し方</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やさしく教えたから</li> <li>・自分から進んで声をかけたから</li> <li>・ほめたから気持ちがいい</li> </ul> </p> <p>○ 場づくり</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旗やひらがな看板で店が分かりやすい</li> <li>・立つ所や待つ所にテープをはったから</li> </ul> </p>	<p>○ 学習の流れを書いたシートを貼る。</p> <p>○ 観点別に見やすくするため、板書は色を変える。</p> <p>○ 自分たちの活動とつないで考えるために活動の掲示物や生活科ファイルを見直すように助言する。</p> <p>○ 見直したことや頑張ったことの内容は一つのチームだけでなく他のチームにも当てはまることを確認する。</p> <p>○ 園児の気持ちを考えたことを十分認め賞賛する。</p> <p>○ 言葉かけについては他の言葉も発表させる。</p> <p>○ 友だちのがんばりや自分の成長に気付いた発言があったら賞賛する。</p> <p>○ 園児が喜んでくれたのは、園児の気持ちになって考えたからだということに気付かせるために矢印を引く。</p>
<p>3 よかったよカードの内容を聞く。</p>	<p>○ 自分の成長に気付かせるために年下の人の気持ちを考えて活動できたことを賞賛する。</p>
<p>4 「てづくりおもちゃであそぼう」の学習で園児に対しての思いや頑張ったことを振り返り、○○○○ノートに書く。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <p>ねんちょうさんのためにみなおしたことが、やくにたってととてもうれしかったです。また、いっしょにあそびたいです。おもちゃづくりは、ぼくもともだちもとてもがんばりました。みんなからほめてもらって1年生はすごいなあとおもいました。</p> </p>	<p style="text-align: center;"><b>評価規準</b></p> <p>自分たちで見直したことと園児が喜んでくれた理由をつないで考え、自分や友だちのがんばり・自分の成長に気付く。</p> <p>○ よかったよカードやたのしかったシール、板書を参考にするように助言する。</p> <p>○ 園児への思いや自分のがんばりを振り返ることのできるようなノートを用意する。</p>



# 第 1 学年 O 組 本 時 指 導 案

## 1 本 時 (20/25)

### 2 本時の目標

- 園児と楽しく遊ぶための工夫を考え、相手のことを考えた遊びの見直しをすることができる。

【思考・表現】

### 3 本時指導の考え方

本時までには子どもたちは、今までの遊びの経験について話し合ったり、写真や本を見たりする事で、手作りおもちゃに興味をもち、身近な材料を使って自分たちが作ってみたいおもちゃを考えて作ってきている。また、他のグループの子どもたちと互いに遊び合う事で、自分や友だちの作ったおもちゃのよさを見つけ、もっとよくするために、自分のおもちゃを手直しする事ができている。そして、みんなで楽しく遊べるように条件を整えたり、場づくりをしたりして「○○○○ランド」を開いて遊びを十分楽しんできている。さらに、以前の校区探険で保育園を訪問し交流して一緒に遊び仲良くなった園児を「○○○○ランド」に招待して、自分たちの作ったおもちゃで楽しく遊んでもらいたいと考えている。

本時は、園児たちと一緒に楽しく遊ぶためには、ルールの見直し、看板の手直し、年下の子に対する接し方を考えて、グループで遊びやルールを見直すことをねらいとしている。

そこで本時の学習づくりにあたっては、次のような手だてをとりたい。

- ア 園児たちと一緒に遊んだ時の様子を思い出し、一緒に遊びたいという意欲をもつことができるように、写真を提示し、保育園の先生からの手紙を紹介する。
- イ 園児が自分たちより年下だということに気づき、明確な相手意識をもつことができるように、園児についてイメージできる資料を提示する。
- ウ 観点をはっきりさせ、相手のことを考えた話し合いができるように、見直しの観点（遊ぶルール・場づくり・接し方など）を明確にする。
- エ 話し合い活動だけでは見直しが十分できなかった児童が相手のことを考えた遊びの見直しをすることができるように、おもちゃの手直しを実際に行うことができる材料コーナーを作る。また、接し方を練習するための園児メダルを使った場作りを行う。
- オ 次時の活動への見通しをもち、意欲をもって次時の活動ができるように、園児と楽しく遊ぶためにしたことを書く○○○○ノートを準備する。

### 4 準 備

- 【教師】 園児との交流の写真、クラスで遊んだ時の写真、活動の掲示物  
保育園の先生の手紙、園児をイメージさせるもの（服、帽子など）  
去年の園児（現1年生）の交流写真、  
材料コーナー（画用紙、色紙、マジック、テープ等）  
年長さんメダル（グループに1つ）、ルールを書き直す用紙、○○○○ノート
- 【児童】 手作りのおもちゃ、材料、道具袋、生活科ファイル

5 展 開

学 習 活 動 と 内 容	支 援
<p>1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつくる。</p> <p>(1) 前時までの学習を振り返る。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">この前遊んだ保育園の年長さんたちに学校に来て遊んでもらいたいね。</p> <p>(2) 本時のめあてをつくる。</p>	<p>○ ○○○○ノートを見ながら、前時までの活動を振り返らせ、今まで一人ひとりが頑張ってきた事を認め、誉める。</p> <p>○ 園児と遊んだ時の様子を想起し、楽しんでもらいたいという思いをもたせるために、いっしょに遊んだ時の写真を提示したり、保育園の先生のお礼の手紙を紹介する。</p>
<p>ねんちょうさんのために「○○○○ランド」をみなおそう。</p>	
<p>(3) 学習の見直しをもつ。</p> <p>2 「○○○○ランド」の見直しについて話し合う。</p> <p>○ 園児たちについて考える。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まだ字が読めないかもしれないね。</li> <li>・ 難しくて上手にできないかもしれないね。</li> <li>・ 楽しく遊んでほしいね。</li> <li>・ 優しくゆっくりお話してあげたらいいね。</li> <li>・ ルールを簡単にしてあげよう。</li> <li>・ 遊び方を見せてあげたらいいね。</li> <li>・ おてがみをあげたら喜んでくれるかな。</li> </ul> </p>	<p>○ 学習の見直しをもたせるために、「はなしあい」「おもちゃづくり」「○○○○ノート」のシートを黒板に貼る。</p> <p>○ 園児の姿を去年の自分と比べて考えさせるために、園児の服や、いすを提示する。</p> <p>○ 今までどんな工夫（じょうぶさ、きれいさ、あそびのルール）をしてきたのか想起させるために、活動の足跡の掲示物を見るよう助言する。</p> <p>○ 園児を意識した見直しをするために、児童からでた意見を、「遊ぶルール・場づくり・接し方」の観点に整理し、色分けをして黒板に書く。</p>
<p><b>評価規準</b></p> <p>園児たちが楽しく遊べるような遊びのルール・場づくり・接し方を考えている。</p>	
<p>3 遊びの見直しをする。</p> <p>○ グループで、場づくりの見直しやおもちゃの手直しを試みる。</p> <p>4 学習を振り返り、次時の活動への見直しをもつために、○○○○ノートを書く。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">ねんちょうさんのために、ルールをかんたんにしたので、たのしくあそんでほしいな。</p>	<p>○ すべての児童が、場づくりの見直しやおもちゃの手直しができるように、材料や道具の準備をしておく。また、接し方の練習をさせるために、園児メダルの使い方を説明する。</p> <p>○ 園児と楽しく遊ぶためにしたことと、次にしたいことを、ノートに書くように指示をする。</p>